

## ARIB技術資料（ARIB TR-T16）一部改定に係る差替版

本差替版はARIB TR-T16 1.3版から1.4版への改定に伴い変更されたページを収録したものです。

社団法人 電 波 産 業 会  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1  
日土地ビル11階

電話 03-5510-8590

FAX 03-3592-1103

---

### ARIB TR-T16 1.4版 差替案内

削除する頁	追加する頁	備考
表紙	表紙	差替
2	2	差替
10	10	差替
12	12	差替
14	14	差替
17	17	差替
18	18	差替
	1.4版改定履歴	追加
奥付	奥付	差替



ARIB TR-T16  
(差替版)

狭域通信（DSRC）システム  
陸上移動局の  
接続性確認に係る試験項目・試験条件

DEDICATED SHORT-RANGE COMMUNICATION SYSTEM  
TEST ITEMS AND CONDITIONS FOR MOBILE STATION  
COMPATIBILITY CONFIRMATION

技術資料  
ARIB TECHNICAL REPORT

[一部改定版]

ARIB TR-T16 1.4版

平成13年9月6日	策	定
平成14年11月27日	1.	1改定
平成15年10月13日	1.	2改定
平成17年11月30日	1.	3改定
平成19年12月12日	1.	4改定

社団法人電波産業会

Association of Radio Industries and Businesses

## 第 2 章 接続試験器による試験

### 2.1 試験の目的

接続試験器による試験は、移動局の製造業者が製造した移動局が「狭域通信 (DSRC) システム標準規格 ARIB STD-T75」の陸上移動局の規定を満足していることを、接続試験器を用いて確認するものである。

### 2.2 試験構成

接続試験器は、一般的には基地局シミュレータと呼ばれる機器で、RF 送受信特性機能、移動局との間で送受信を行うという基本的機能等を有するものであるが、本技術資料では、当該機器の具体的型式等は特定せず、機能を実現可能な機器という定義にとどめる。

接続試験器には、付録 2 に示す移動局用 DSRC 試験プログラムを搭載した移動局に対して接続試験を行うための試験用プログラムを搭載する。

接続試験器と被試験移動局との接続形態として次の 2 通りが想定される。

- (1) シールドルームまたはシールドボックス内で、無線接続またはコネクタ接続により接続される場合。この場合の接続試験器による試験の構成例を図 2.1-1 に示す。
- (2) 被試験移動局と接続試験器が、電波法第 4 条第 3 号及び電波法施行規則第 6 条第 4 項第 7 号に規定された狭域通信システムの陸上移動局と狭域通信システムの陸上移動局の無線設備の試験のための通信を行う無線局として、共に技術基準適合証明を受けていることにより、任意に無線接続される場合。この場合の接続試験器による試験の構成例を図 2.1-2 に示す。

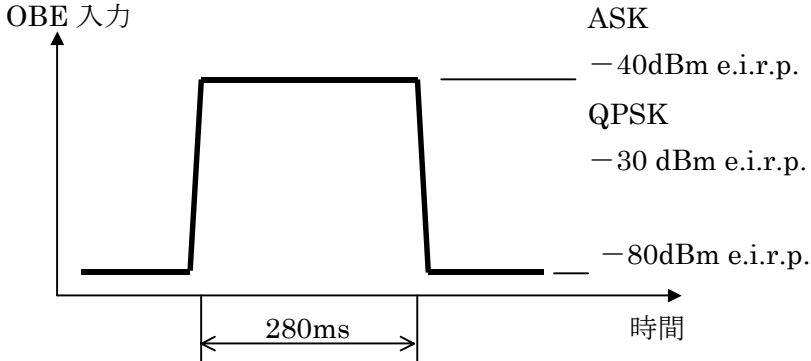
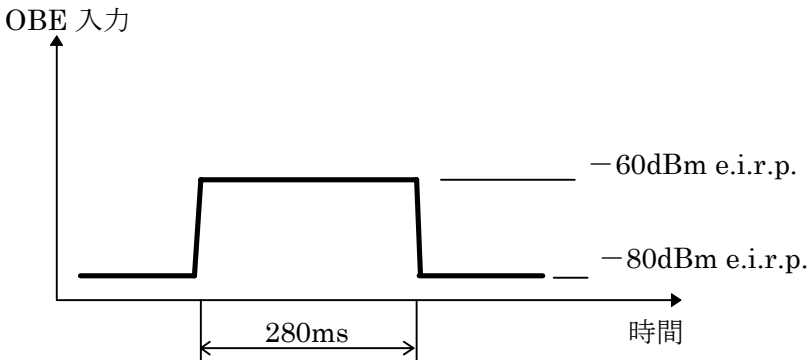
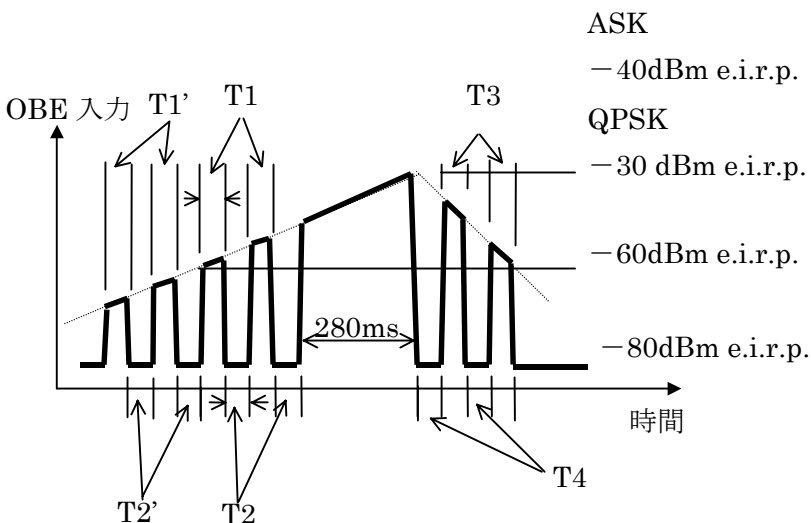
ただし、接続試験器と被試験移動局の設置や運用方法に対しては、「狭域通信 (DSRC) システム 標準規格 ARIB STD-T75 付属資料 Q」の設置運用基準を厳守し、他の通信に干渉や妨害を与えないように考慮されること。

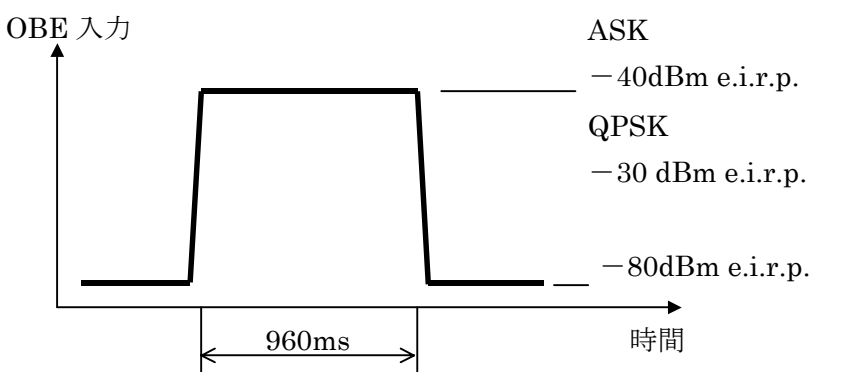
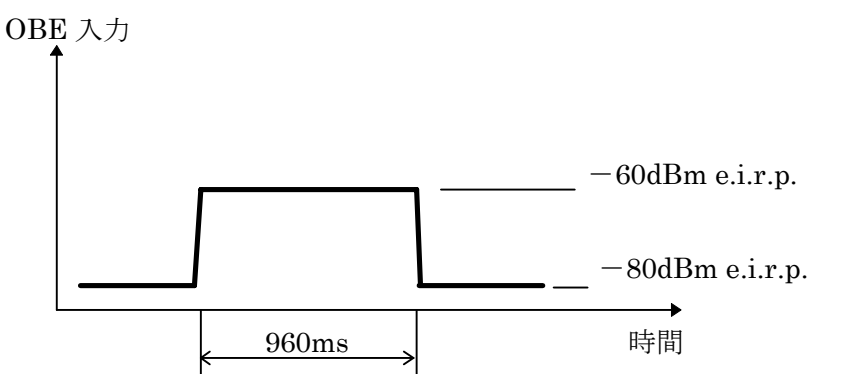
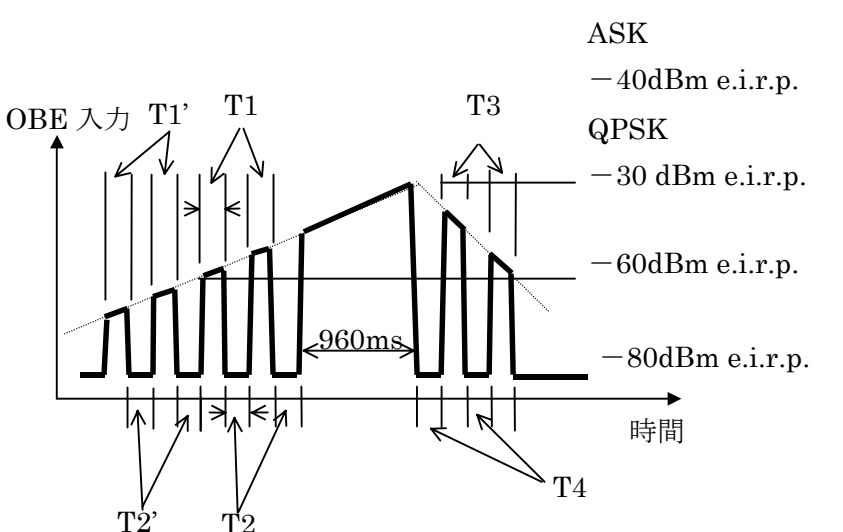
前記した 2 通りの接続形態は、試験内容により使い分けてもよい。

なお、以降の文章では、移動局を OBE (On-Board Equipment)、接続試験器を TE (Test Equipment) と表現することがある。

2.3.2.7 電力プロファイル

動的動作試験の時に使用される電力プロファイルを以下に示す。

番号	名称	電力プロファイル
1-1	通常走行試験 理想パターン OBE 最大入力	 <p>ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30 dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p. 280ms 時間</p>
1-2	通常走行試験 理想パターン OBE 最小入力	 <p>-60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p. 280ms 時間</p>
2-1	通常走行試験 実パターン A	 <p>ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30 dBm e.i.r.p. -60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p. 280ms 時間</p> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を <math>n_1</math>、T3 が作る山の数を <math>n_2</math> として</p> <p><math>T1' = T1 = T3 = 3ms</math>, <math>T2' = T2 = T4 = 3ms</math>  <math>n_1 = 4</math>, <math>n_2 = 2</math></p>

番号	名称	電力プロファイル
5-1	低速走行試験 理想パターン OBE 最大入力	 <p>                     ASK                      -40dBm e.i.r.p.                      QPSK                      -30dBm e.i.r.p.                      -80dBm e.i.r.p.                 </p> <p>960ms 時間</p>
5-2	低速走行試験 理想パターン OBE 最小入力	 <p>                     -60dBm e.i.r.p.                      -80dBm e.i.r.p.                 </p> <p>960ms 時間</p>
6-1	低速走行試験 実パターン A	 <p>                     ASK                      -40dBm e.i.r.p.                      QPSK                      -30dBm e.i.r.p.                      -60dBm e.i.r.p.                      -80dBm e.i.r.p.                 </p> <p>960ms 時間</p> <p> <math>T1, T2, T3, T4, T1', T2'</math> </p> <p> <math>T1, T2, T3, T4, T1', T2'</math> の関係は、<math>T1</math> が作る山の数を <math>n1</math>、<math>T3</math> が作る山の数を <math>n2</math> として  <math>T1' = T1 = T3 = 9ms, T2' = T2 = T4 = 9ms</math>  <math>n1 = 4, n2 = 2</math> </p>

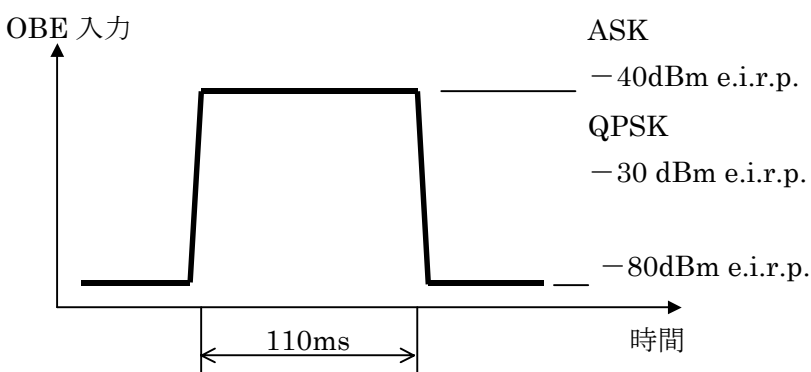
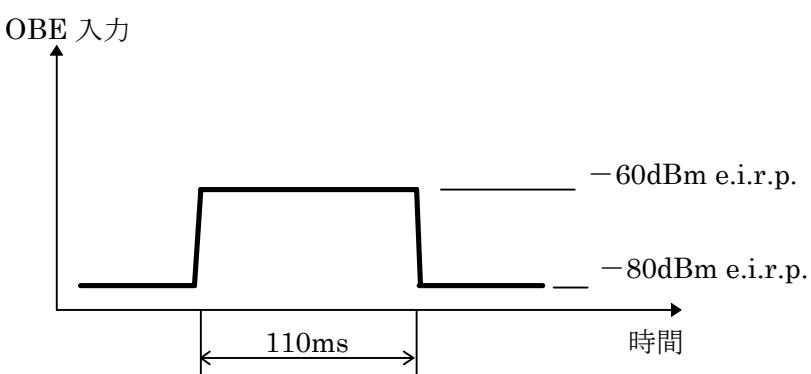
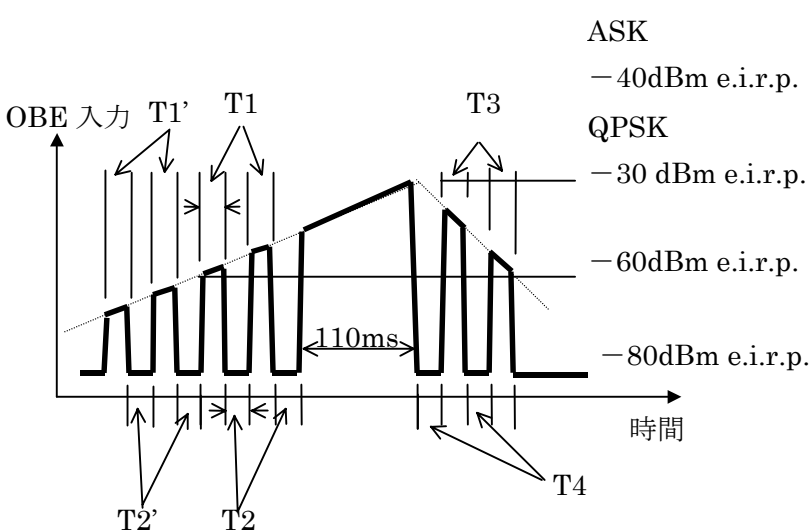
番号	名称	電力プロファイル
9-1	高速走行試験 理想パターン OBE 最大入力	 <p>ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>110ms</p> <p>時間</p>
9-2	高速走行試験 理想パターン OBE 最小入力	 <p>-60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>110ms</p> <p>時間</p>
10-1	高速走行試験 実パターン A	 <p>ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>110ms</p> <p>時間</p> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を <math>n1</math>、T3 が作る山の数を <math>n2</math> として</p> <p><math>T1' = T1 = T3 = 1ms</math>, <math>T2' = T2 = T4 = 1ms</math>  <math>n1 = 4</math>, <math>n2 = 2</math></p>

表 2.2 ASK 方式の受信装置に関する試験内容

試験番号	試験項目名	規格
1-2-1-A	受信感度	空中線ポアサイト方向にて、-60.5dBm e.i.r.p.以上、-39.6dBm e.i.r.p.以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下であること。
1-2-2-A	副次的に発する電波等の限度	2.5 $\mu$ W 以下であること。

2.3.3.1.2  $\pi/4$  シフト QPSK 方式表 2.3  $\pi/4$  シフト QPSK 方式の送信装置に関する試験内容

試験番号	試験項目名	規格
1-1-1-Q	周波数の偏差	絶対精度が $\pm 20 \times 10^{-6}$ 以下。
1-1-2-Q	占有周波数帯幅	4.4MHz 以内であること。
1-1-3-Q	スプリアス発射又は不要発射の強度	帯域外領域におけるスプリアス発射の強度は 25 $\mu$ W 以下であること。 スプリアス領域における不要発射の強度は 2.5 $\mu$ W 以下であること。
1-1-4-Q	空中線電力の偏差	空中線電力は 10mW 以下であること。 空中線電力の出力精度は、+50%、-50%以内であること。
1-1-5-Q	隣接チャネル漏洩電力	隣接チャネル：-30dB 以下であること。 隣々接チャネル：-40dB 以下であること。
1-1-6-Q	キャリアオフ時の漏洩電力	2.5 $\mu$ W 以下であること。
1-1-7-Q	変調信号の送信速度	信号速度は、4096.000kbps とし、変調信号速度の許容偏差は、 $\pm 100 \times 10^{-6}$ 以下であること。
1-1-8-Q	信号送出絶対時間の許容偏差とバースト送信過渡応答特性	$\Delta T_{abs} < 5 \mu s$ 、 $T_{bst} < 5 \mu s$ 但し、 $\Delta T_{abs}$ ：信号送出絶対時間の許容偏差 $T_{bst}$ ：バースト送信過渡応答時間

表 2.4  $\pi/4$  シフト QPSK 方式の受信装置に関する試験内容

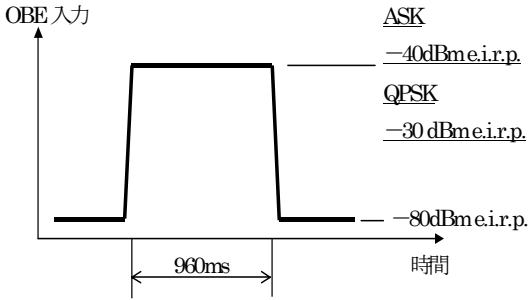
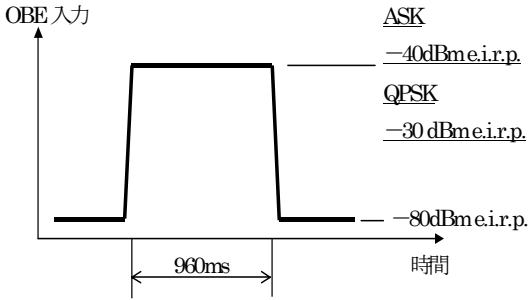
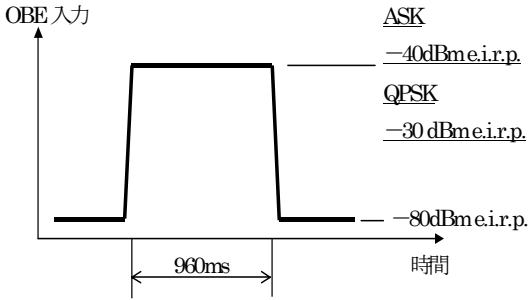
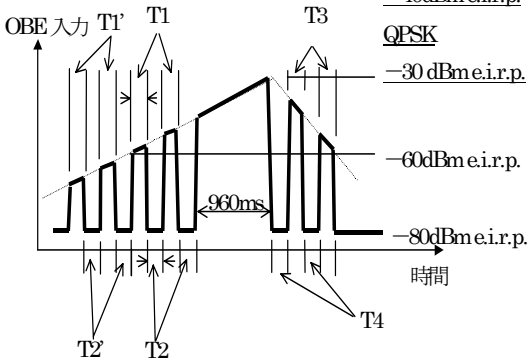
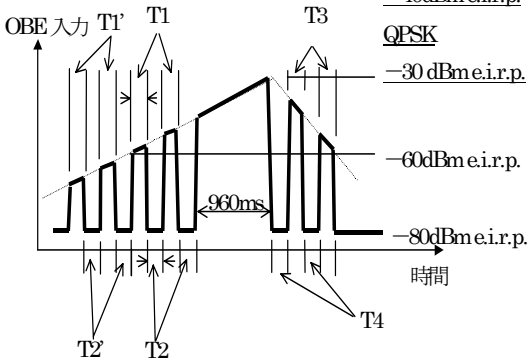
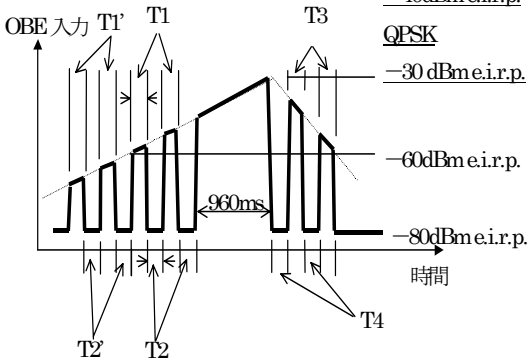
試験 番号	試 験 項 目 名	規 格
1-2-1-Q	受信感度	空中線ボアサイト方向にて、-60.5dBm e.i.r.p. 以上、-30.0dBm e.i.r.p.以下の入射電力にて、 ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下である こと。
1-2-2-Q	副次的に発する電波等の限度	2.5 $\mu$ W 以下であること。

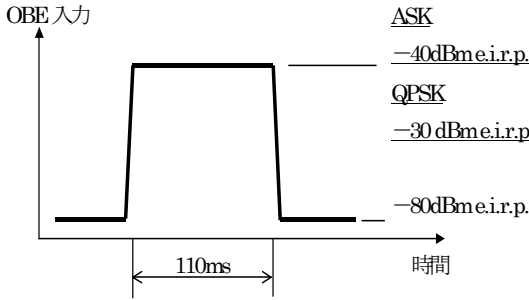
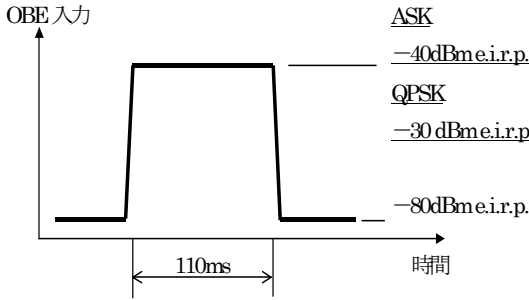
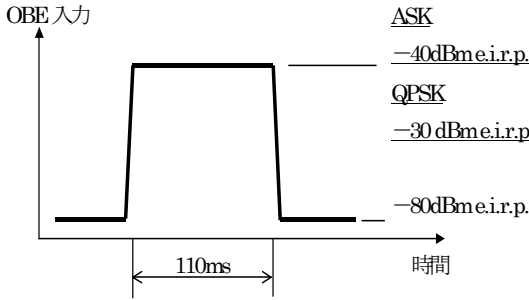
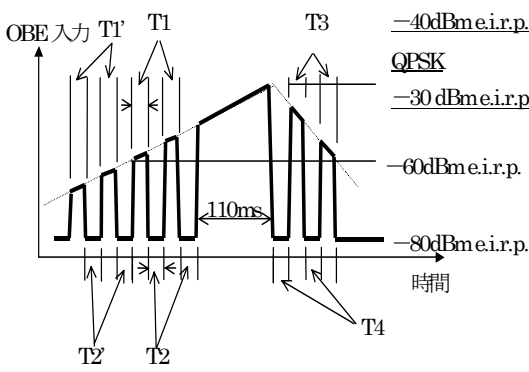
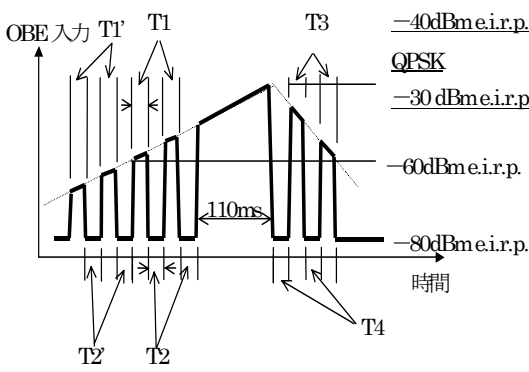
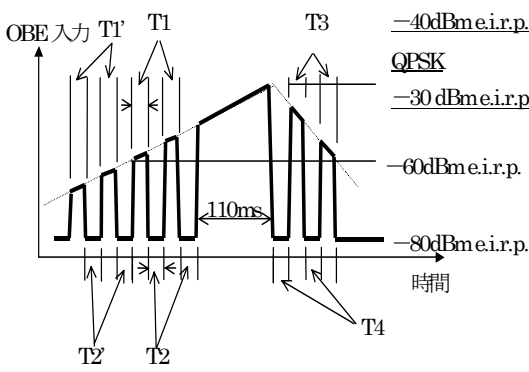


ARIB TR-T16 1.4 版 改定履歴

(下線は改定部分を示す。)

頁	章・項	改定	現行	改定理由						
2	2.2	<p>2.2 試験構成</p> <p>(略)</p> <p>(2) 被試験移動局と接続試験器が、電波法第4条第3号及び電波法施行規則第6条第4項第7号に規定された</p> <p>(略)</p>	<p>2.2 試験構成</p> <p>(略)</p> <p>(2) 被試験移動局と接続試験器が、電波法第4条第3号及び電波法施行規則第6条第4項の7に規定された</p> <p>(略)</p>	<p>省令等引用の見直しによる誤記訂正</p>						
10	2.3.2.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名称</th> <th>電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>通常走行試験理想パターン OBE 最大入力</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	1-1	通常走行試験理想パターン OBE 最大入力		<p>— 40dBm</p> <p>e.i.r.p.</p>	<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p>
番号	名称	電力プロファイル								
1-1	通常走行試験理想パターン OBE 最大入力									
10	2.3.2.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>名称</th> <th>電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>通常走行試験実パターン A</td> <td> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 3ms, T2' = T2 = T4 = 3ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p> </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	2-1	通常走行試験実パターン A	<p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 3ms, T2' = T2 = T4 = 3ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>	<p>— 40dBm</p> <p>e.i.r.p.</p>	<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p>
番号	名称	電力プロファイル								
2-1	通常走行試験実パターン A	<p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 3ms, T2' = T2 = T4 = 3ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>								

12	2.3.2.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="339 344 432 398">番号</th> <th data-bbox="432 344 549 398">名称</th> <th data-bbox="549 344 1126 398">電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="339 398 432 853">5-1</td> <td data-bbox="432 398 549 853">低速走行試験 理想パターン OBE 最大入力</td> <td data-bbox="549 398 1126 853">  <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	5-1	低速走行試験 理想パターン OBE 最大入力	 <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p>	<p style="text-align: center;">- 40dBm e.i.r.p.</p>	<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p>
番号	名称	電力プロファイル								
5-1	低速走行試験 理想パターン OBE 最大入力	 <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p>								
12	2.3.2.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="339 956 432 1010">番号</th> <th data-bbox="432 956 549 1010">名称</th> <th data-bbox="549 956 1126 1010">電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="339 1010 432 1778">6-1</td> <td data-bbox="432 1010 549 1778">低速走行試験 実パターン A</td> <td data-bbox="549 1010 1126 1778">  <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 9ms, T2' = T2 = T4 = 9ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p> </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	6-1	低速走行試験 実パターン A	 <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 9ms, T2' = T2 = T4 = 9ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>	<p style="text-align: center;">- 40dBm e.i.r.p.</p>	<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p>
番号	名称	電力プロファイル								
6-1	低速走行試験 実パターン A	 <p style="text-align: right;">ASK -40dBm e.i.r.p. QPSK -30dBm e.i.r.p. -60dBm e.i.r.p. -80dBm e.i.r.p.</p> <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2' の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 9ms, T2' = T2 = T4 = 9ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>								

<p>14</p>	<p>2.3.3.7</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="323 344 416 398">番号</th> <th data-bbox="416 344 531 398">名称</th> <th data-bbox="531 344 1110 398">電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="323 398 416 813"> <p>9-1</p> </td> <td data-bbox="416 398 531 813"> <p>高速走行試験 理想パターン OBE 最大入力</p> </td> <td data-bbox="531 398 1110 813">  </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	<p>9-1</p>	<p>高速走行試験 理想パターン OBE 最大入力</p>		<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p> <p>- 40dBm e.i.r.p.</p>
番号	名称	電力プロファイル							
<p>9-1</p>	<p>高速走行試験 理想パターン OBE 最大入力</p>								
<p>14</p>	<p>2.3.3.7</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="323 911 416 965">番号</th> <th data-bbox="416 911 531 965">名称</th> <th data-bbox="531 911 1110 965">電力プロファイル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="323 965 416 1729"> <p>10-1</p> </td> <td data-bbox="416 965 531 1729"> <p>高速走行試験 実パターン A</p> </td> <td data-bbox="531 965 1110 1729">  <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2'の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 1ms, T2' = T2 = T4 = 1ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p> </td> </tr> </tbody> </table>	番号	名称	電力プロファイル	<p>10-1</p>	<p>高速走行試験 実パターン A</p>	 <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2'の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 1ms, T2' = T2 = T4 = 1ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>	<p>QPSK 方式の受信感度改定に伴う修正</p> <p>- 40dBm e.i.r.p.</p>
番号	名称	電力プロファイル							
<p>10-1</p>	<p>高速走行試験 実パターン A</p>	 <p>T1, T2, T3, T4, T1', T2'の関係は、T1 が作る山の数を n1、T3 が作る山の数を n2 として</p> <p>T1' = T1 = T3 = 1ms, T2' = T2 = T4 = 1ms</p> <p>n1 = 4, n2 = 2</p>							

17	2.3.3.1.1	<p style="text-align: center;">表 2.2 ASK 方式の受信装置に関する試験内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">試験番号</th> <th style="width: 25%;">試験項目名</th> <th style="width: 60%;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1-2-1-A</td> <td style="text-align: center;">受信感度</td> <td>空中線ボアサイト方向にて、<b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、<b>-39.6dBm e.i.r.p.</b>以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が <math>1 \times 10^{-5}</math> 以下であること。</td> </tr> </tbody> </table>	試験番号	試験項目名	規 格	1-2-1-A	受信感度	空中線ボアサイト方向にて、 <b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、 <b>-39.6dBm e.i.r.p.</b> 以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下であること。	<p>空中線ボアサイト方向にて、<b>-60.5dBm</b> e.i.r.p. 以上、<b>-39.6dBm e.i.r.p.</b>以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が <math>1 \times 10^{-5}</math> 以下であること。</p>	誤記訂正
試験番号	試験項目名	規 格								
1-2-1-A	受信感度	空中線ボアサイト方向にて、 <b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、 <b>-39.6dBm e.i.r.p.</b> 以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下であること。								
18	2.3.3.1.2	<p style="text-align: center;">表 2.4 <math>\pi/4</math>シフト QPSK 方式の受信装置に関する試験内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">試験番号</th> <th style="width: 25%;">試験項目名</th> <th style="width: 60%;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1-2-1-Q</td> <td style="text-align: center;">受信感度</td> <td>空中線ボアサイト方向にて、<b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、<b>-30.0dBm e.i.r.p.</b>以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が <math>1 \times 10^{-5}</math> 以下であること。</td> </tr> </tbody> </table>	試験番号	試験項目名	規 格	1-2-1-Q	受信感度	空中線ボアサイト方向にて、 <b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、 <b>-30.0dBm e.i.r.p.</b> 以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下であること。	<p>空中線ボアサイト方向にて、<b>-65dBm e.i.r.p.</b>以上、<b>-44.1dBm e.i.r.p.</b>以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が <math>1 \times 10^{-5}</math> 以下であること。</p>	<p>QPSK 規格の明確化に伴う QPSK 方式の受信感度範囲の改定及び誤記訂正</p>
試験番号	試験項目名	規 格								
1-2-1-Q	受信感度	空中線ボアサイト方向にて、 <b>-60.5dBm</b> e.i.r.p.以上、 <b>-30.0dBm e.i.r.p.</b> 以下の入射電力にて、ビット誤り率 (BER) が $1 \times 10^{-5}$ 以下であること。								

---

狭域通信（DSRC）システム  
陸上移動局の  
接続性確認に係る試験項目・試験条件

技 術 資 料

ARIB TR-T16 1.4 版（差替版）

---

平成 13 年 9 月	1.0 版第 1 刷発行	
平成 14 年 11 月	1.1 版第 1 刷発行	
平成 15 年 10 月	1.2 版第 1 刷発行	
平成 17 年 11 月	1.3 版第 1 刷発行	
平成 19 年 12 月	1.4 版第 1 刷発行	（一部改定に係る差替版）

発 行 所

社 団 法 人 電 波 産 業 会  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1  
日土地ビル 11 階

電 話 03-5510-8590  
F A X 03-3592-1103

---





ARIB TR-T16

狭域通信（DSRC）システム  
陸上移動局の  
接続性確認に係る試験項目・試験条件

DEDICATED SHORT-RANGE COMMUNICATION SYSTEM  
TEST ITEMS AND CONDITIONS FOR MOBILE STATION  
COMPATIBILITY CONFIRMATION

技 術 資 料

ARIB TECHNICAL REPORT

ARIB TR-T16 1.3版

平成13年 9月 6日	策	定
平成14年11月27日	1.	1 改定
平成15年10月16日	1.	2 改定
平成17年11月30日	1.	3 改定

社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses





## まえがき

社団法人電波産業会は、無線機器製造者、電気通信事業者、放送事業者及び利用者等の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な要件を「標準規格」又は「技術資料」として策定している。

技術資料は、国の技術基準と民間の任意基準をとりまとめた標準規格を踏まえて、無線設備の適正品質、互換性の確保等を図るため、当該無線設備に関する測定法、試験法等を民間の規格として具体的に定めたものである。

本技術資料は、「狭域通信（DSRC：Dedicated Short-Range Communication）システム 陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件」について策定したもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、電気通信事業者、有料道路事業者、検査指定機関、利用者等の利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により策定されたものである。

本技術資料で規定されている範囲は、狭域通信（DSRC）システム陸上移動局が基地局と接続性を確保するための基本的事項について定めたものであるが、本技術資料の実際の利用にあたっては、狭域通信（DSRC）システムに係る有料道路事業者等の試験機関、無線機器製造者等が、本技術資料を逸脱することなく独自に定めることが可能な運用上の設定値等を併せて利用することが必要である。

本技術資料が、無線機器製造者、試験機関等に積極的に活用されることを希望する。



## 目 次

## まえがき

第 1 章 一般事項	1
1.1 概要	1
1.2 試験区分	1
第 2 章 接続試験器による試験	2
2.1 試験の目的	2
2.2 試験構成	2
2.3 試験項目・試験条件の詳細	4
2.3.1 試験項目一覧	4
2.3.1.1 設備の技術的条件に関する試験項目	4
2.3.1.1.1 ASK 方式	4
2.3.1.1.2 1/4シフト QPSK 方式	4
2.3.1.2 通信制御方式に関する試験項目	5
2.3.2 基本パラメータ	7
2.3.2.1 レイヤ 1 関係	7
2.3.2.2 レイヤ 2 関係	7
2.3.2.3 レイヤ 7 関係	8
2.3.2.4 アプリケーション関係	8
2.3.2.5 試験時申告するパラメータ	8
2.3.2.6 試験シーケンス	9
2.3.2.7 電力プロファイル	10
2.3.3 試験内容	16
2.3.3.1 設備の技術的条件に関する試験内容	16
2.3.3.1.1 ASK 方式	16
2.3.3.1.2 1/4シフト QPSK 方式	17
2.3.3.2 通信制御方式に関する試験内容	19
2.3.3.2.1 基本動作試験	19
2.3.3.2.2 動的動作試験	49
第 3 章 接続性確認試験	58
3.1 試験の目的	58
3.2 試験構成	58

3.3	接続性確認試験の実施	59
3.3.1	ETC 機能を有する移動局の場合	59
3.3.2	ETC 機能を有さない移動局の場合	59
3.4	試験項目・試験条件の詳細	59
3.4.1	ETC 機能を有する移動局の場合	59
3.4.1.1	ETC 機能の試験	59
3.4.1.2	外部接続機能の試験	59
3.4.1.3	その他の機能の試験	59
3.4.2	ETC 機能を有さない移動局の場合	59
3.4.2.1	外部接続機能の試験	59
3.4.2.2	その他の機能の試験	60
3.5	外部接続機能の試験	60
3.5.1	試験内容	60
付録 1	DSRC の Test Procedure に関する基本的考え方	A1-1
付録 2	移動局用 DSRC 試験プログラム仕様	A2-1
付録 3	移動局の機能分類と接続試験器による試験項目との関係	A3-1
付録 4	接続試験器による試験項目一覧	A4-1
付録 5	有料道路自動料金収受システムにおける、通信標準規格 ARIB STD-T55 用及び通信標準規格 ARIB STD-T75 用の移動局間互換性試験	A5-1

改定履歴